

指定管理者自己評価結果

【評価対象年度】 平成30年度

1 総則

指定管理者	公益財団法人 守口市文化振興事業団
事業期間	平成 30 年 4 月 1 日 ～ 平成 31 年 3 月 31 日
管理体制	守口市生涯学習情報センター（以下「ムーブ」と記載）
	守口文化センター（以下「エナジー」と記載）
職員の勤務状況	

守口市生涯学習情報センター

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

2 施設のサービス水準

(1) 事業達成度の分析・評価

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
運営業務	開館日・時間	午前9時～午後9時 【図書フロア】 1) 平日(火～金曜日) 午前10時～午後8時 2) 土曜・日曜・祝日 午前10時～午後5時	条例・規則、協定書に基づき実施	条例・規則、協定書に基づき実施
	受付・案内	施設の管理運営に支障がないように配慮するとともに、利用者の要望に応えられる体制とする。	施設予約や図書の受付等に関する各種マニュアルに基づき、お客様の目線に立ったきめ細やかな対応を目指した。特に施設の顔である受付・案内業務の重要性に鑑み、市民に好感を持っていただける対応に留意した。	きめ細やかな対応と好感を持っていただける親切な受付・案内業務を目指して運営した。特に苦情等もなく、適切に対応できた。
	料金設定	条例・規則により規定	条例・規則に基づき実施	条例・規則に基づき実施
	広報・宣伝	チラシ等を作成して近隣施設に配付し、利用の促進等宣伝活動を行うとともに類似公共施設のポスターの掲示PRの相互協力、ホームページの維持管理・作成業務等 管理運営業務仕様書に示された内容	ホームページや機関紙を活用し、各施設のイベント情報や利用案内等の情報発信に努めた。ポスター、チラシ等を作成し、PRに努めた。また、八幡市、枚方市、門真市等の類似施設とも連携し、広報面での相互協力を図った。	適宜ホームページを更新するとともに、財団機関紙の「情SHOW気流」を4回季刊発行するなどして、PRと利用の推進を図った。情報誌や各種チラシ等のアナログメディア、ホームページ等のデジタルメディア、情報提供コーナー等のスペースメディアを通じた広報活動を積極的に行い、生涯学習のPRと推進に努めた。
施設維持管理業務	清掃・保守 点検	「基本協定書(以下“協定書”と記載)及び「管理運営業務仕様書(以下“仕様書”と記載)に示された内容	仕様書に基づき実施。点検の結果、修繕を要するものは市と協議し、施設の適正な維持管理に努めた。	業務仕様書のとおり実施した。大規模改修を要するものは、市に報告し、適切な維持管理に努めた。
	修繕	協定書及び仕様書に示された内容	件数:13件 金額:3,421千円	設備の老朽化が著しく、小規模な修繕では追いつかない状況になってきている。全体の建物検査が必要であり計画的な修繕の執行が緊急課題である。
	利用者数	仕様書に特に規定なし	施設利用計 96,809人 イベントホール 30,981 人 グリーンルーム1 21,799 人 グリーンルーム2 21,547 人 研修室 8,890 人 会議室 2,976 人 プラネタリウムドーム 9,702 人 ギャラリー 914 人	利用が伸び悩み、残念ながら利用の減となった。
			図書フロア計115,925人 図書フロア 104,182 人 視聴覚コーナー 11,743 人	
	利用料金	収入目標 11,645千円	収入 10,609千円	平成29年度の実績は、11,379千円であった。今年度は若干の減収となった。
	利用率	仕様書に特に規定なし	イベントホール 25.5 % グリーンルーム1 19.2 % グリーンルーム2 18.3 % 研修室 19.7 % 会議室 12.4 % プラネタリウムドーム 9.5 % ギャラリー 2.9 %	利用人数が若干の減となった為、利用率においても同様の傾向が見られる。

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
その他業務	職員研修	仕様書に基づき、各種研修の実施	業務を円滑に進めるための打合せ会、緊急時における対応のための消防訓練等の研修を行った。 図書フロアにおいては、専門職の能力向上のため、大阪府公共図書館協会主催司書セミナーはじめ、障がい者サービス研修、協力貸出担当者研修、参考業務研修会等に参加し、研鑽を深めた。	適正な業務遂行のための各種研修を実施し、職員等のレベル向上に努めるとともに、毎日の朝礼、毎月の定例会議で日常の課題に対する情報共有および解決に努めることができた。
	個人情報保護	協定書及び仕様書に基づき、個人情報保護の適正な管理を行うために必要な措置を講じる。	個人情報に関わる書類・データの取扱いには、厳格に対処した。個人情報保護規定に基づき、書類の速やかな処分(データ入力後裁断処理)や個人情報(第三者に漏れる(個人情報の入った電子媒体の持出し禁止等)ことのない措置を講じた。	個人情報の記載された書類・データの取扱いについては、特に注意(第三者に目に触れない措置等)して、業務を遂行するよう周知徹底した。
	情報公開	協定書及び仕様書に基づき、情報の公開について必要な措置を講じる。	開示請求はなかった。 今後開示請求があった場合は、市と協議し、当事業団の「情報公開規定」に基づき対応。	開示請求は受けなかったが、日常の利用者への対応についても分かりやすく心がけるなど、開かれた施設運営を目指した。
	事故等への対応	適切な措置を講じ、委員会、関係機関に通報	幸い事故等はなかった。	各自が緊張感を持って業務の遂行に努め、幸い事故等はなかった。

事業達成度評価 コメント	事業達成度評価
運營業務については、協定事項等に基づき実施し、創意工夫を凝らした広報宣伝に努めた。 施設維持管理業務については、協定書・仕様書に基づき実施し、適正な維持管理に努めた。 施設利用許可業務のうち、利用料金収入については、目標値を下回り、非常に残念である。 自主事業については、概ね計画通り遂行でき、生涯学習に関わる多種多様な事業を実施した。	B

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業・ムーブ	歴史散歩 京街道をゆく	独自事業【ムーブ】	職員が市内の名所・旧跡を案内して約5キロを散策。郷土史理解の一助となった。 ①開催日:平成30年4月7日(土) ②開催場所:八坂瓊神社、佐太天満宮ほか市内名所10カ所 ③実施回数:1回 ④定員:20人 ⑤参加人数:20人 ⑥参加率:100% ⑦その他 歴史散歩テキストやペットボトルを参加者に進呈。	ウォーキングを伴う事業なので健康増進の側面もあり、毎回ほぼ満員である。リピーターも多く、好評をいただいている。受講者の積極的な質問など学びの真摯な姿勢がみられた。
	もりぐち市民大学講座 2018	独自事業【ムーブ】	多様なジャンルの市民向け教養講座を6回開催。 ①開催日: 平成30年5月26日、7月28日、8月25日、9月22日、10月26日、11月17日 (各土) ②開催場所:3階研修室、1階エントランスホール ③実施回数:全6回 ④のべ定員:50人×6回 ⑤のべ参加人数:160人 ⑥参加率:53.3% ⑦内訳: 5月26日「国際情勢の正しいみかた」21人、 7月28日「健康寿命をのばす日常食」31人、 8月25日「よく噛むとどうしていいの」27人、 9月22日「地震の備え講座」25人、 10月26日「らくらくバレエストレッチ」26人、 11月17日「マラーと歌曲・ミニコンサート」30人、	生涯学習情報センターの主要事業の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。市民大学は多くの市民の方々に、生涯学習の場を提供し、一人ひとりが輝き、豊かな地域社会づくりに貢献することを目的に毎年多様な講師陣をお招きし講演会やワークショップを展開しています。「国際情勢の正しいみかた」講師:岩田年浩氏(京都経済短期大学学長)「健康寿命をのばす日常食」講師:眞鍋昇(東京大学名誉教授)「よく噛むとどうしていいの」講師:川村早苗氏(朝日大学歯学部教授)「地震の備え講座」講師:森浩介氏(生涯学習開発財団認定コーチ)「らくらくバレエストレッチ」講師:松岡優香氏(バレエインストラクター)「マラーと歌曲」講師等:今本秀爾氏(著述家)、伊豆田祐香氏(声楽家)、楊美希氏(ピアニスト)
	プラネタリウム学習番組の投影	独自事業【ムーブ】	子供たちに科学への興味付けを図るため、期間を定めてプラネタリウム学習番組を投影。「月の動き」など。 ①開催日:平成30年6月1日(木)から7月14日(金)まで ②開催場所:プラネタリウムドーム ③実施回数:20回 ④のべ定員:120人×20回 ⑤のべ参加人数:1,569人 ⑥参加率:65.4% ⑦その他:職員が機器の操作、解説全てを行なう。	平成19年のプラネタリウム休止後も財団の自主事業として毎年学習番組を投影している。学校・園から多くの投影依頼があり、子どもたちへ天文への関心を図るとともにプラネタリウムの有効活用を担っている。
	なつやすみファミリーフェスタ	独自事業【ムーブ】	夏休みに「あゆつかみ大会」や「電子オルガンコンサート」「市民手作り作品市」など多様な三世代交流事業を実施。 ①開催日:平成30年7月21日(土)8月4日(土) ②開催場所:1階エントランスホール ③内容及び参加者数: 7月21日「スーパーボールすくい」157人、 7月21日「愛犬のリード作り」15人 7月21日「星空ウォッチング」38人、 8月4日「あゆつかみ大会」28人、 8月4日「電子オルガンコンサート」85人 8月4日「市民手作り作品市」出店数5ブース ④総来場者数:323人	平成10年以来、三世代交流を図るため実施しているムーブ21の恒例事業。幅広い年齢層を対象に毎年違った内容にして、飽きの来ないイベントを心掛けている。「あゆつかみ大会」は熱中症対策のため屋内にブースを設置して実施した。
	星空ウォッチング	独自事業【ムーブ】	子供たちに科学への興味付けを図るため近隣の公園を会場に天体観望会を実施。 ①開催日時: 一回目)平成30年7月21日(土)※再掲、 二回目)11月23日(土・祝) ②実施場所:大日公園 ③実施回数:2回 ④定員:80人×2回 ⑤参加人数:98人 ⑥内訳:7月21日38人、11月23日60人	ムーブ21開館以来、継続実施している事業である。参加者のアンケートから「土星の環が望遠鏡で見た、感動しました」等の率直な意見もいただいております。子供たちの化学への関心を喚起する一助になっている。生涯学習情報センターが行うべき事業のひとつと考えている。課題は屋外イベントのため、当日の悪天候で集客が左右されやすい。悪天候の場合はプラネタリウムで星座解説や望遠鏡の扱い方などのワークショップを行ない参加者の目減りを減らす工夫をしている。

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業・ムーブ	もりぐちeセミナー ～女と男のエンパワメント講座～	守口市との 共催事業 【ムーブ】	人権や女性問題をテーマにした連続講座を守口市、大阪国際大学との三者共催で実施。 ①開催日: 平成30年10月2日、16日、23日、30日、11月6日(火) ②開催場所:研修室 ③実施回数:5回 ④のべ定員:50人×5回 ⑤参加人数:146人 ⑥参加率:56.4% ⑦内訳: 10月2日「子供の安全をみんなで考えよう」19人、 10月16日「金融商品の仕組みを学ぶ」31人、 10月23日「向齢者～老いに抗ぐのではなく向き合って生きる～」44人、 10月30日「健康なところで豊かに生きるには」37人、 11月6日「ことばとこえとみんなの居場所」15人	ムーブ21開館以来、人権啓発セミナーとして市と共催で取り組んできた。近年は人権啓発にとどまらず生活文化をテーマに据えるなど多様なテーマを掲げて実施するなど、集客を図る工夫をしている。
	土曜ステージ	独自事業 【ムーブ】	毎週土曜日、音楽や演芸等を学んでいる学習者に発表の場を提供してきた。ムーブ開館以来継続している事業であったが平成31年2月23日(土)の1234回をもって終了。(無料事業) ①開催日: 平成30年4月5日～平成31年2月23日毎週土曜日(5週目は休演) ②開催場所:エントランスホール ③実施回数:37回 ④総来場者数:2,090人	出演予約が予約解禁日に即日終了となる人気事業であった。また公共施設で毎週行われるロビーコンサートは稀であり、アマチュアにとって貴重な研鑽の場であるとの評価もいただいた。
	MOVE21 エクセレントコンサート	独自事業 【ムーブ】	毎週末にムーブのエントランスホールにおいて、器楽、声楽を中心に若手演奏家に研鑽の場を提供。(有料事業) ①開催日: 平成30年4月1日～平成31年3月31日(日) ②開催場所:エントランスホール ③実施回数:112回 ④総来場者数:5,157人	安価で質の高い演奏が聴けるとの評価をいただいた。リピーターも多く、土曜ステージとともにムーブのロビーコンサートの2本の柱となった。出演者は音楽系大学の学生か卒業生で彼らの研鑽の場にもなった。惜しまれつつ平成31年3月31日の350回目ををもって終了した。
	第11回大日寄席	独自事業 【ムーブ】	平成19年より文化振興のため実施している事業で守口では貴重な地域寄席として定着した。 ①第11回開催日:平成30年7月7日(土) ②開催場所:イベントホール ③出演者:月亭八方・月亭八光・露の都・桂小春団治・桂慶治朗。 ④定員:266人 ⑤参加者数:225人 ⑥参加率:84.6%	月亭八方・八光の親子共演や近隣出身の小春団治の出演等好条件が重なり、多くの集客があった。
	第12回大日寄席 ～さよなら特別公演～	独自事業 【ムーブ】	平成31年4月からのムーブ21の休館前に市民に人気のある当該事業を市民サービスに資するため特別に実施。 ①第12回開催日:平成31年3月23日(土) ②開催場所:イベントホール ③出演者:桂文鎮・露の都・桂楽珍・桂福矢・露の眞朗。 ④定員:266人 ⑤参加者数:201人 ⑥参加率:75.6%	平成31年3月23日の第12回目ををもって終了となったが、最終回は桂文珍師匠等著名な落語家に出演いただき、有終の美を飾った。

【様式第1号】
(指定管理者記入様式)

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業・ムーブ	プラネタリウム怪談ナイト	独自事業【ムーブ】	平成17年よりプラネタリウムの有効活用と若者をターゲットに実施している事業。年1回実施。 ①開催日:平成30年8月5日(日) ②開催場所:プラネタリウムドーム ③出演者:中山市朗(作家・怪異蒐集家) 雲谷斎(ゲスト・CMプランナー) ④定員:160人 ⑤参加者数:134人 ⑥参加率:83.8%	夏興行として定着した事業。民間イベント会社と連携し、例年実施している。広域から若者層を中心に集客がある。ローソンチケットの売り捌きが一番よい事業でもある。
	真冬の怪談ナイト	独自事業【ムーブ】	平成31年4月からのムーブ21の休館前に特別に冬興行として実施。ゲストは「大映テレビの研究」等で知られる作家の竹内義和氏 ①開催日:平成31年1月27日(日) ②開催場所:プラネタリウムドーム ③出演者:中山市朗(作家・怪異蒐集家) 竹内義和(ゲスト・作家) ④定員:160人 ⑤参加者数:109人 ⑥参加率:68.1%	平成17年より実施している事業。今回の「冬・特別興行」をもって終了となった。
	嘉門タツオ プラネタリウムライブ	独自事業【ムーブ】	プラネタリウムの有効活用と多種多様な芸術文化に出会う機会を提供した。 ①開催日:平成30年7月22日(日) ②開催場所:プラネタドーム ③出演者:嘉門タツオ ④定員:167人 ⑤参加者数:160人 ⑥参加率:95.8%	エンターテインメント性の高いコンサートを実施して市民等に楽しんでいただいた。
	優秀映画鑑賞推進事業「日本映画名作選」	独自事業【ムーブ】	文化庁が保存する日本映画の名作を上映し地域の映像文化の振興を図る。 ①開催日:平成30年7月16日(月・祝) ②開催場所:イベントホール ③上映作品「日本のいちばん長い日」「けんかえれじい」「東京流れ者」「独立愚連隊」 ⑤定員:100人×4 ⑥参加者数:162人 ⑦参加率:40.5%	一般の映画館では見ることができない貴重な映画の鑑賞機会を創出できたと考え。デジタルではない昔ながらのフィルム上映でおこなったことも意義があった。
	新春を彩る 箏の調べ	独自事業【ムーブ】	地元で活躍する演奏集団を招き、伝統芸術の振興を図るため実施。 ①開催日:平成31年1月13日(日) ②開催場所:4階イベントホール ③定員200人 ④参加者数:215人 ⑤参加率:107.5% ⑥その他:来館者に和菓子付抹茶サービスを振る舞った。職員がすべて準備し運営している。	地元の著名な邦楽演奏家がチケット売り捌きの協力をしてくれるため、毎回ほぼ満員である。
	コイン式 インターネット	独自事業【ムーブ】	ネット検索、メール、ブログ更新等に利用できるインターネットブースを設置している。100円で15分利用可能。携帯の充電もできる。 年間利用者数:2,206人	撤去した1階公衆電話の跡スペースを有効活用して情報センターにふさわしいネット環境を市民に提供できた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 * 図書事業	【子どもの読書支援事業】 おはなし会	独自事業 【ムーブ】	職員・おはなしボランティアグループで、絵本の読み聞かせ・紙芝居・エプロンシアター・パネルシアター・手遊び等を実施する。 話し手と距離が近いので臨場感が生まれ、毎回好評を博している。 ①開催日: 毎月第1・3土曜日 ②開催場所: おはなしコーナー ③実施回数: 24回 ④定員: 自由参加のため無し ⑤参加人数: 1, 343名 ⑥参加率: 自由参加のため、カウント対象外 ⑦その他 対象: 乳幼児から小学校低学年まで。	図書フロアの「子どもの読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 毎回、多くの親子で賑わい、子ども達が身をのりだしておはなしを楽しむ姿を見ると、今後もずっと継続すべき事業と考えている。 最近では父親と子どものペアでの参加者も多くなり、育児に関心が高い父親が増加していることを実感する。本事業は、子ども向けイベント事業の中核となるもので、例年多くの参加者がある。これまで館内での開催にとどまらず、ボランティアの協力を得て文化センターや学校園等にも出かけ、事業の拡充に努めている。
	【子どもの読書支援事業】 出前事業 (出前講座&出前おはなし会)	独自事業 【ムーブ】	図書スタッフが、市内幼稚園・小学校・中学校 等に出向き、図書フロアの利用方法など図書館関連の講座を実施する「出前講座」や、絵本の読み聞かせ等を実施する「出前おはなし会」を開催する。 ①開催日: 通年 ②開催場所: 市内幼稚園・小学校・中学校・支援学校・高齢者施設 等 ③実施回数: 6回 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: 168名 ⑥参加率: カウント対象外	図書フロアの「子どもの読書支援事業」の一つとして、平成18年以来、継続して実施している事業。 出前講座では、子ども達への授業の他、教員の研修会(国語部会)にも講師として招かれ、「ブックトークの実習」や「絵本の読み聞かせ方法」等を公演した。 また、最近では高齢者施設から依頼され「出前おはなし会」を行なうことも増え、今後も継続して実施し、図書と市民を結びつけていきたい。
	【子どもの読書支援事業】 読書推進展示	独自事業 【ムーブ】	図書フロアの展示コーナーに、「月毎のテーマ展」や「社会のトピックス関連の図書」等を展示し、さまざまな図書を紹介し、子ども達の読書活動の推進を図る。 ①開催日: 通年 ②開催場所: 図書フロア展示コーナー ③実施回数: 12回 (展示期間: 1回につき1ヶ月間) ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: カウント対象外 ⑥参加率: カウント対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数4, 448冊	図書フロアの「子どもの読書支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 所蔵している資料を、さまざまな角度から利用者に紹介することにより、新たな分野への読書を誘う。自分たちが紹介した本を利用者が手に取り、真剣にご覧になっている姿を見ると、とても嬉しく勇気づけられる。今後、市民が求める展示テーマの把握(アンケート調査等)にも努め、本事業の充実を図る。
	【子どもの読書支援事業】 子ども読書の日記念① 春のおたのしみ会 ☆ビックブックの紹介 & 子どもDVD上映会	独自事業 【ムーブ】	「子ども読書の日」を記念し、普段、公開していないビックブック絵本(大型絵本)とビック紙芝居(大型紙芝居)の紹介と読み聞かせを実施。また、所蔵の子ども向けDVD上映会を実施した。 ①開催日: 平成30年4月28日(土) ②開催場所: 図書フロア おはなしコーナー ③実施回数: 1回 ④定員: 自由参加のため無し ⑤参加人数: 87名 ⑥参加率: 自由参加のため、カウント対象外 ⑦その他	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。通常版絵本・紙芝居の約4倍の大きさのビックブックとビック紙芝居に、子ども達は驚くほど興味を示し、また、ご家族様達も興味津津でご覧になっておられた。イベント終了後も子ども達が一斉に資料に飛びつき、熱心に読んでいる姿が見受けられた。
	【子どもの読書支援事業】 子ども読書の日記念② 「司書がススめるこの1冊」 展示	独自事業 【ムーブ】	図書フロアで働く司書10名が各推薦する一般図書・児童図書 計90冊の展示・貸出を実施。 ①開催日: 平成30年4月22日(日)～5月13日(日) ②開催場所: 図書フロア カウンター前 ③実施回数: 1回 ④定員: 対象外 ⑤参加人数: 対象外 ⑥参加率: 対象外 ⑦その他	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。利用者から、「司書のみなさんは、普段どのような本を読んでいるのか?とても興味がある」とよく質問される。この展示は、それに答えるイベントとして開催している。が、想像以上に好評で、もっと展示回数を増やしてほしいとリクエストされた。これからも継続実施していきたい事業である。
	【子どもの読書支援事業】 おはなし読み聞かせボランティア養成講座	独自事業 【ムーブ】	子どもの読書活動推進に寄与するため、読み聞かせボランティアを養成した。 ①開催日: 平成30年6月9・16日(各土) ②実施回数: 2回 ③定員: 20名 ④参加人数: 20名 ⑤参加率: 100, 0%	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。初心者だけでなく、現在、読み聞かせボランティア活動を行っている方々も多く受講された。成果発表の場として、ムーブのおはなし会に参加していただいた。緊張しながらも全員、精一杯読み聞かせをされていた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 * 図書事業	【子どもの読書支援事業】 YA(ヤングアダルト)コーナーへの新書本配置	独自事業 【ムープ】	読書離れが進むYA世代の読書活動の推進を図るため、 司書が選んだYA向きの本375冊を展示した。 ①開催期間:平成30年6月19日(火)～30日(土) ②開催場所:図書フロアYAコーナー ③実施回数:期間中継続 ④定員:対象外 ⑤参加人数:対象外 ⑥参加率:対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数:375冊	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。他の世代に比べ特に読書離れが激しく、SNSが情報享受の主流であるYA世代に少しでも読書を興味をもてただけるよう実施した。予想以上に、多くの人が本を手にとって読んでおられた。
	【子どもの読書支援事業】 夏のおたのしみ会☆歯医者さんのおはなし会と紙芝居☆	独自事業 【ムープ】	夏休みを前に子どもの読書活動の推進と歯の健康の大切さを学ぶため、歯科医師会の協力で歯医者さんによるおはなしと絵本の読み聞かせ、紙芝居の公演を実施。 ①開催日:平成30年7月21日(土) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:自由参加のため無し ⑤参加人数:120名 ⑥参加率:自由参加のため無し ⑦その他 講師:守口市歯科医師会山本歯科医院スタッフ&ボランティアサークルくすの木 混成チーム。	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。市内すべての保育所、こども園に事前PRを行い、地元の町会のすべての掲示板にポスター掲示を行った。結果、多くの親子連れで賑わった。子ども達は、こわ～いイメージの歯医者さんと衛生士さんたちが語るオモシロイおはなしと、紙芝居に身を乗り出して聞き入っていた。また、子ども達はお話しを通して、歯の大切さを学んでいる様子が伺えた。最後に、歯医者さんから参加者全員にプレゼントがあり、子どもたちは大喜び。親御さんからは次回以降もぜひ開催をと感謝とリクエストを受けた。
	地域コーディネーターによる「中学生おはなし会」研修	独自事業 【ムープ】	各中学校区の地域コーディネーターが中心となり、中学生の読み聞かせのための講習会を開催。 ①開催日:7月14日 ②開催場所:図書室 ③実施回数:1回 ④参加者:42人	講習会で読み聞かせの方法を学ぶ。本事業は協力事業として毎年開催している。
	おはなし会 中学生による読み聞かせ	独自事業 【ムープ】	講習会で学んだ読み聞かせを、実際に中学生が実施する。 ①開催日:8月25日 ②開催場所:図書室 ③実施回数:1回 ④定員:10人 ⑤参加率:90.0% ⑥参加人数:9人	緊張する中、一所懸命に読んでいた。貴重な経験を積むことができたと思う。本事業は協力事業として毎年開催している。
	【子どもの読書支援事業】 「銀河鉄道の夜」 DVD上映会Inプラネタリウムドーム	独自事業 【ムープ】	宮沢賢治著「銀河鉄道の夜」DVD上映会をプラネタリウムドームで実施。 ①開催日:平成30年8月26日(日) ②開催場所:プラネタリウムドーム ③実施回数:1回 ④定員:対象外 ⑤参加人数:130人 ⑥参加率:対象外	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。プラネタリウムドームの満天の星空の下、上映されるDVDのお話に、「まるで宇宙空間に自分たちが飛び出して、体験している様だ」と多くの参加者から感想を寄せられた。
	【子どもの読書支援事業】 秋の読書週間記念 ぬいぐるみお泊まり会	独自事業 【ムープ】	秋の読書週を記念し、幼児から図書館に親しんでもらい、本との触れ合いを深めるため実施した幼児向けの読書支援事業。 ①開催期間:平成30年10月27日(土)～28日(日) ②開催場所:図書フロア ③実施回数:1回 ④定員:12名 ⑤参加人数:12名 ⑥参加率:100.0%	「子どもの読書支援事業」の一つとして実施した。本事業は、もともと米国の公共図書館が、読書離れが進む子ども達の図書館利用を促進するため取り組んだ事業であり、28年度はじめて実施し、参加者から非常に好評で、継続実施を望む声が多く、今年度も継続実施した。子ども達が大切にしている「ぬいぐるみ」を図書フロアで一晩預かり、そのぬいぐるみ達が、閉室後の図書フロアで絵本の読み聞かせや、本の整理、カウンター業務を体験している姿を写真撮影し、翌日お迎えに来た子ども達にプレゼントする。ぬいぐるみが楽しく図書フロアで働く姿を見て、子ども達に図書館への興味を持ってもらうことが本事業の狙いである。リピーターの参加者が多く、さらに、今後も続けてほしいとの声が、多く寄せられた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業＊図書事業	【子どもの読書支援事業】 子ども読書の日記念③ 冬のおたのしみ会 ☆クリスマス子どもDVD上映会	独自事業 【ムーブ】	クリスマスに子ども向けDVD上映会を開催。 ①開催日：平成30年12月23日(日) ②開催場所：おはなしコーナー ③実施回数：1回 ④定員：対象外 ⑤参加人数：55名 ⑥参加率：対象外 ⑦その他	図書フロアの「子どもの読書支援事業」の一つとして、クリスマスにちなんだ内容のDVD上映会を行った。図書フロアでは、関連本を展示・貸出し、子ども達が作品への興味をもち、以て、子ども達の読書活動推進を図ることができるよう実施した。
	【ブックスタート支援事業】 ①冊子「絵本の読み聞かせQ&A」 ②冊子「ムーブ21 おススメ 赤ちゃんに贈るはじめての絵本」の発行	公民館、子育て支援センターとの協力事業 【ムーブ】	1、冊子「絵本の読み聞かせQ&A」の発行 ブレマ・フレババにおくる絵本の選び方と読み聞かせ方法のポイント・注意点等を紹介する。 2、冊子「ムーブ21 おススメ 赤ちゃんに贈るはじめての絵本」の発行 所蔵絵本の中から司書が推薦する絵本をピックアップし紹介する。 ①開催日：通年 ②配布場所：ムーブ図書カウンター、文化センター、公民館、子育て支援センター、市民保健センター ③発行部数：660部 ④その他 公民館・子育て支援センターとの協力事業	図書フロアの「ブックスタート支援事業」として実施した。司書への読書相談の中で、「子ども達にどのような本を読んでもいいかわからない」、「読み聞かせ方法を知りたい」といった質問が多く寄せられ、真剣に悩まれている親御さんが多いことに気づき実施したもの。悩めるママ・パパ達の問題解決を図り、親子で読書を楽しんでいただけるようこれからも継続していきたい。
	【図書館教育支援事業】 保育所、幼稚園、小・中・高・支援学校、老人施設、各種団体による図書フロア見学	独自事業 【ムーブ】	市内の保育所、幼稚園、小・中・高・支援学校、老人施設、各種団体が図書フロア見学し、図書館の利用方法等を学ぶ。 毎回、司書が「図書フロアのしくみ」講座を行なった後、図書フロア見学を開催する。 また、通常は貸出対象外である所蔵「しかけ絵本」の紹介やブックトーク等も実施する。 最後には、必ず質問コーナーを設け、参加者からの質問に司書が回答する。 ①開催日：通年 ②開催場所：1F視聴覚コーナー、2F図書フロア ③実施回数：50回 ④定員：カウント対象外 ⑤参加人数：1,344名 ⑥参加率：カウント対象外	図書フロアの「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。毎年、たくさんの学校が図書フロア見学に来館下さるが、今期は特に、今まであまりなかった「老人施設」の方が多く来られた。体のご不自由な高齢者の参加者の皆様に、少しでも読書を楽しんでいただけるよう、大型紙芝居・大型絵本の読み聞かせや、「大活字本の紹介」などを実施した。車いすに座られていた高齢者の参加者の皆様が、笑顔で司書に話しかけて下さり、感想を話して下さいましたことや、別れ際に手を握り「来てよかった。ありがとう」と話して下さいましたことが印象深い。これからもずっと継続していきたい事業である。
	【図書館教育支援事業】 小・中学生の職場体験学習の受入	独自事業 【ムーブ】	図書館業務を体験する職場体験学習を通して、子ども達が、働く意味を知り、図書フロアの仕組みや有意義な利用方法等を学び、図書に親しみ、以て、子ども達の読書活動の推進が図られるよう実施した。 ①開催日：通年 ②開催場所：図書フロア ③実施回数：12回 ④定員：カウント対象外 ⑤参加人数：33名 ⑥参加率：カウント対象外	図書フロアの「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。毎年、多くの小・中学生が図書フロアで職場体験をされている。もともと図書に興味があり、図書フロアを希望して受講する児童・学生が多い。2日間に渡り図書館業務(司書体験)をしていく中で、「想像以上に、体力がいる仕事だとわかった」、「利用者とのコミュニケーションができれば成立しない仕事だと解った」という感想を多くいただく。この職場体験学習に参加した子ども達は、その後も図書フロアを利用する人が多く、体験を通じて、より一層本に対する興味を持ち、図書フロアに親しんでいただけるよう実施している。
	【図書館教育支援事業】 学校図書館主催者教諭との研修会	教育委員会との協力事業 【ムーブ】	市内小・中学校の学校図書室主担当教員との研修会を実施した。 団体貸出のしくみ、出前事業・図書フロア見学、職場体験学習の受入 等を紹介し、図書フロアのさまざまな利用方法の説明する。 意見交換会を通じて、学校図書館とムーブの連携を図る。 ①開催日：5月31日(木) ②開催場所：研修室 ③実施回数：1回 ④定員：カウント対象外 ⑤参加人数：35名 ⑥参加率：カウント対象外 ⑦その他 教育センター・教育委員会との協力事業。	図書フロアの「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。昨今、図書館と学校との連携が目目をされているが、ムーブでは平成10年度以来、教育センターと共催で、ムーブの図書館司書と学校図書館主担当教員との合同研修会を実施してきた。さらに、学校図書室の選書に係る教育委員会総務課、市内図書納入組合も加わり、連携して子ども達の読書活動推進に努力を重ねていく。ムーブからは、特に出前事業・団体貸出の紹介と申込方法などをPCで紹介し、ムーブと学校の連携強化に努めている。
	【図書館教育支援事業】 大学生のインターンシップ受入	独自事業 【ムーブ】	インターンシップを通して、大学生達に公共の教育施設として、市民に対してどのようなサービスを提供していくのかを学ぶ機会を提供し、将来の職業選択の一助となるよう実施した。 ①開催日：平成30年8月3日(金)～8月17日(金) ②開催場所：図書フロア ③実施回数：12回 ④定員：カウント対象外 ⑤参加人数：20名 ⑥参加率：カウント対象外	図書フロアの「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。生涯学習情報センター図書フロアが守口市の中央図書館的な役割を果たし、どのようにして市民の読書活動を支援しているのかをインターンシップを通じて大学生に学んでいただいた。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 * 図書事業	【図書館教育支援事業】 子ども1日図書館サポーター 体験講座	独自事業 【ムープ】	子ども達が、司書から「本や図書館の歴史」「図書フロアの仕組み・有意義な利用方法」等を学習した後、実際に図書カウンターで司書業務を体験する。 体験を通して、子ども達が本や図書フロアに親しみ、読書活動の推進が図られるよう実施した。 また、生涯にわたり図書フロアを利用し、「図書館サポーター」として、他の人達にも「読書のおもしろさ」等を伝えてもらうことが出来るよう実施した。 ①開催日:平成30年8月5日(日) ②開催場所:図書フロア ③実施回数:1回 ④定員:11名 ⑤参加人数:11名 ⑥参加率:100.0%	図書フロアの「図書館教育支援事業」の一つとして、平成7年度以来、継続して実施している事業。 業務体験中に、子ども達の目がキラキラと輝きだし、自らすすんで配架や書架の整理などをする姿に感動した。
	【図書館教育支援事業】 夏休み学習何でも相談 (調べ学習の支援)	独自事業 【ムープ】	子ども達が、日頃抱いている疑問や質問等を図書資料を利用し、司書と共に、解決していく。 ①開催日:夏休み期間中 ②開催場所:参考資料室 ③実施回数:91回 ④定員:対象外 ⑤参加人数:91名 ⑥参加率:対象外	図書フロアの「図書館教育支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 子ども達が司書の支援で、資料を使って問題解決を行なっていく。 子ども達にとっても「調べ学習」の大変貴重な体験をすることになる。疑問が解決したときの子どもの笑顔がとても素晴らしい。
	【図書館教育支援事業】 小学生の職場インタビュー 「図書館でのお仕事Q&A 小学生と司書の座談会」	独自事業 【ムープ】	第1部:図書司書の仕事内容の紹介。司書になって良かった点 等の質疑応答。 第2部:カウンター業務体験 ①開催日:平成30年11月15日(木)木 ②開催場所:図書フロア、図書整理作業室 ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:10名 ⑥参加率:対象外 ⑦その他:庭窪小学校 との協力事業	図書フロアの「図書館教育支援事業」の一つとして実施した。 出前事業に同った小学校側からリクエストがあり、実施した。 子ども達も積極的に質疑応答も活発で、大変熱心であった。 また、カウンター業務体験は、とても新鮮だった様子で、熱心な姿が印象に残った。
	【障がい者の読書支援事業】 音訳図書の作成	独自事業 【ムープ】	視覚障がい者の生涯学習活動を支援するため、障がい者が利用する音訳図書を自主製作した。 ①開催日:通年 ②開催場所:ワークルーム ③実施回数:27回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:2,276名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦製作数 総計100点(CD版:16点 CT版:33点 DAIZY版:51点)	図書フロアの「障がい者支援事業」の一つとして、平成12年度以来、継続して実施している事業。 財団が主催する「音訳ボランティア養成講座」の卒業生達がボランティアグループを結成し、職員と共に、音訳図書を作成し、視覚障がい者に提供している。 *毎月約50名の視覚障がい者に郵送貸出を行なっている。
	【障がい者の読書支援事業】 点訳図書の作成	独自事業 【ムープ】	視覚障がい者の生涯学習活動を支援するため、障がい者が利用する点訳図書を自主製作した。 ①開催日:通年 ②開催場所:ワークルーム ③実施回数:12回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:144名 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦製作数:36冊	図書フロアの「障がい者支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 職員と点訳ボランティアグループのメンバーが所蔵本を点訳し、視覚障がい者に提供している。
	【障がい者の読書支援事業】 対面朗読の実施	独自事業 【ムープ】	視覚障がい者の生涯学習活動を支援するため、職員・音訳ボランティアが、2時間1コマ単位で所蔵資料やリクエスト資料を朗読する。 ①開催日:通年 ②開催場所:対面朗読室 ③実施回数:15回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:18名 ⑥参加率:カウント対象外	図書フロアの「障がい者支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 職員と音訳ボランティアグループのメンバーが所蔵本やリクエスト資料を朗読し、視覚障がい者の生涯学習活動を支援している。
	【障がい者の読書支援事業】 大活字本の収集	独自事業 【ムープ】	標準文字では、読書が困難な視覚障がい者(主として弱視者)の生涯学習活動を支援するため、大活字本の収集を図った。 ①実施期間:通年 ②実績:平成30年度末現在の蔵書数976冊	図書フロアの「障がい者支援事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 視覚障がい者の中でも、最近では、交通事故や疾病等で弱視者の割合が増加しており、この事業については、これからも継続していく必要性が高い。
	【障がい者の読書支援事業】 フレクストーク・拡大読書機 講習会	独自事業 【ムープ】	標準文字では読書が困難な視覚障がい者(主として弱視者)や、高齢化が進み、指先の感覚が鈍り、これまで用いていた点字が判読困難となった全盲者が増加しているため、フレクストーク(DAIZY図書判読機)の操作講習や、拡大読書機の操作講習会を実施し、生涯学習活動支援を図った。 ①開催日:平成30年8月24日(金) ②開催場所:図書フロア・ワークルーム ③実施回数:1回 ④定員:5名 ⑤参加人数:5名 ⑥参加率:100%	図書フロアの「障がい者支援事業」の一つとして、今期初めて実施した。 視覚障がい者も高齢化が進み、点字図書を読めなくなってきた人が増加しているのが現状である。 世界共通水準であるDAIZY図書への変換が進み、視覚障がい者の世界もアナログからデジタル化へ移行が顕著であるところから実施した。 参加者にはほぼマンツーマンで対応したため、「細かいところまで配慮がゆき届いた研修で、とても良かった」とのお声をいただき、好評であった。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業*図書事業	【読書と作品製作事業】 たのしい手芸1日講座	独自事業 【ムーブ】	「読書から生まれる作品づくり」の第1回目の事業として、所蔵本を参考にゆび編み作品を製作する。 市民の生涯学習活動、及び図書資料の利用促進をはかるため実施した。 ①開催日:平成30年11月24日(土) ②開催場所:ワークルーム ③実施回数:1回 ④定員:10名 ⑤参加人数:14名 ⑥参加率:140.0% ⑦その他 ゆび編みで「クリスマスリース」を製作する1日講座。 関連本の展示・貸出も実施した。	図書フロアの「読書と作品製作事業」の一つとして、平成21年以来、継続して実施している事業。 所蔵資料を参考に、講師の指導の下、クリスマスリースを作成しておられた。 参加者は、全員作品作りに成功し、大変満足されておられた。関連本も全て貸出済となった。
	【読書と作品製作事業】 図書資料を利用した「作品展示」&関連本展示・貸出	独自事業 【ムーブ】	「読書から生まれる作品づくり」の第3回目の事業として、所蔵本を参考に作品を製作し、図書フロアに展示し、利用者に紹介する。 また、関連本を展示・貸出し、市民の生涯学習活動、及び図書資料の利用促進をはかるため実施した。 ①開催日:平成30年12月1日(土)～28日(金) ②開催場所:図書フロア展示コーナー・図書カウンター ③実施回数:1回 ④定員:カウント対象外 ⑤参加人数:カウント対象外 ⑥参加率:カウント対象外 ⑦その他 所蔵資料を利用して制作した「編みぐるみ」11点の展示、及び関連本展示・貸出:108冊	図書フロアの「読書と作品製作事業」の一つとして実施した。利用者からのリクエストで実施した事業で、作品の展示・紹介を行なうことにより、製作者自身の喜びも感じられ、また、その作品を見た他の利用者からは「自分もこんな作品を作ってみたい」「この作品が載っている本を貸してほしい」などいろいろな反響があった。
	【環境学習支援事業】 環境カレッジ春プログラム 環境問題啓発図書展示	独自事業 【ムーブ】	親子で楽しみながら環境の諸問題を学び、「地球を守るため、自分たちで何ができるか」をテーマに、自らが具体的に考え、エコライフを実践するよう年間を通じて開催する「環境カレッジ」の第1回目の事業。 災害・地球温暖化問題 等さまざまな環境問題に関する資料の展示・貸出を実施し、読書を通じて、利用者に地球環境を守る大切さを学習していただくよう実施した。 ①開催期間:平成30年4月1日(日)～6月30日(土) ②開催場所:図書フロア 展示コーナー ③実施回数:期間中継続 ④定員:対象外 ⑤参加人数:対象外 ⑥参加率:対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数:231冊	図書フロアの「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年以来、継続して実施している事業。 昨今、地震・暴風雨による土砂崩れ、火山噴火などさまざまな自然災害が起り、利用者の関心も非常に高い。 また、授業で使用されるため、学校からの貸出依頼も多く、非常に多くの方に利用された。
	【環境学習支援事業】 環境カレッジ夏プログラム DVD上映会	独自事業 【ムーブ】	「環境カレッジ」の第2回目の事業。環境問題への導入学習として、環境DVD上映会を実施した。 ①開催日:平成30年8月18日(土) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:対象外 ⑤参加人数:30名 ⑥参加率:180%	図書フロアの「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年度以来、継続して実施している事業。 DVD上映会は一見、難しくとらえがちな環境問題でも、映像で楽しみながら学習できるため、参加者からは好評を得ることができた。
	【環境学習支援事業】 環境カレッジ秋プログラム 不用品をリメイクしたアクセサリ製作(読書と作品制作事業エコ工作も兼ねる)	独自事業 【ムーブ】	「環境カレッジ」の第3回目の事業。今回のテーマは「リサイクル」。 図書フロアで不用になった図書や雑誌を市民に無償譲渡(一人あたり上限10冊)し、資源の有効活用と読書活動の促進を図る。 ①開催日:平成30年10月21日(日) ②開催場所:ギャラリー ③実施回数:1回 ④定員:対象外 ⑤参加人数:363名 ⑥参加率:対象外	図書フロアの「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年度以来、継続して実施している事業。 開場前から多くの市民が並び好評であった。持ち帰り袋を有料とし、収入は盲導犬の育成に役立ててもらおうと日本ライトハウスに寄付。
	【環境学習支援事業】 環境カレッジ冬プログラム 月周回衛星かぐや&子供向け環境DVD上映会	独自事業 【ムーブ】	「環境カレッジ」の第4回目の事業。今回のテーマは「月衛星かぐや」。 今回で、1年を通じて行ってきた環境カレッジの最終回を迎える。 宇宙からみた地球。このすばらしい惑星を守るため、私たち人類は何をすべきか?を学習するため、JAXA製作の「月周回衛星 かぐや」のDVD上映会とおはなし。その後、子供たちにも理解しやすい「環境DVD上映会」。最後に、電子紙芝居(自主制作)を行い、1年間の環境カレッジを終了した。 ①開催日:平成30年12月23日(日) ②開催場所:おはなしコーナー ③実施回数:1回 ④定員:自由参加のためカウント対象外 ⑤参加人数:100名 ⑥参加率:自由参加のためカウント対象外	図書フロアの「環境学習支援事業」の一つとして、平成16年以来、継続して実施している事業。 1年間の活動を通じて、子ども達が多く参加し、今回も、年末にもかかわらず、親子での参加が目立った。 親子一緒に環境の大切さを学び、生活の中で、すぐに実践できることをわかりやすく伝えることができたのではないかとと思う。 未来の地球のため、環境をよくするために、継続していきたい事業である。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 * 図書事業	【高齢者の図書館利用促進事業】 敬老の日記念DVD落語会	独自事業【ムーブ】	所蔵DVDの中から、特に人気がある「桂米朝・桂枝雀」の落語からそれぞれ2題を選び、上映会を実施した。 とかく、自宅に引きこもりがちな高齢者の方々に、遠方に出かける必要もなく、近辺にある図書フロアで、無料で落語を楽しんでいただき、また、参加者同士の交流や資料の利用促進を図ることができた。 ①開催日時: 平成30年9月17日(月) ②開催場所: 閲覧室 ③実施回数: 1回 ④定員: 32名 ⑤参加人数: 53名 ⑥参加率: 165.6%	図書フロアの「高齢者の図書館利用促進事業」の一つとして、平成16年以来、継続して実施している事業。 毎回、参加されるリピータも多く、最近では、大学で落語サークルに入っている学生など若い世代の参加者も目立つ。 休憩時間には、高齢者と若い世代が話をされており、世代間の交流が見受けられた。 終了後、所蔵資料の貸出が多く、資料のリストを希望される方も少なくない。 参加者からのリクエストも多くいただき、とても好評を得ている事業である。
	【高齢者の図書館利用促進事業】 敬老の日記念「拡大読書機講習会&大活字本・カセットブックワークショップ」	独自事業【ムーブ】	高齢のため、標準大の文字が読みづらくなるため、読書から遠ざかる高齢者が多いことから、参考資料室にある「拡大読書機」を使って、これまで同様、読書を楽しんでいただけるよう講習会を実施した。 また、所蔵している「大活字本」や、耳から聞く「イヤーズブック(カセットブック)」を紹介し、その利用方法を具体的に紹介し、参加者へ実習していただくワークショップを実施した。 とかく、読書から離れがちな高齢者に新たな読書方法と、新たな形態の資料を紹介することにより、高齢者の読書活動の推進と、資料の利用促進を図った。 ①開催日: 平成30年9月17日(月) ②開催場所: 参考資料室・ワークルーム ③実施回数: 1回 ④定員: 6名 ⑤参加人数: 6名 ⑥参加率: 100.0%	図書フロアの「高齢者の図書館利用促進事業」の一つとして、今期初めて実施した事業。 予想以上に、多くの高齢者が参加され、「目が悪くなり、読みたいけど本が楽しめなかった。これ(拡大読書機)を使うと、こんなに文字が大きくなるし、読めるわ!」今まで読書が趣味だったのに、目が悪くなり、読んでいると疲れて途中で投げ出していたけど、これ(大活字本)なら読めるし、耳からきく本もあるなんて知らなかった」という声を多くいただき、とても好評だった。 しかし、今回同時に、大活字本やイヤーズブックのPR不足を痛感し、今後PRIに努めていきたい。
	【図書ネットワーク支援事業】大阪公共図書館協会司書研修会参加	大阪公共図書館協会・大阪府立図書館との協力事業【ムーブ】	大阪公共図書館協会が主催する「障がい者サービス実務研修会」に参加し、障がい者サービス業務を行う中で、図書館員として知っておきたい音訳図書の知識と技術、音声読み上げソフトによる蔵書検索、サビエ図書の利用方法を学ぶ。 ①実施日: 平成30年5月18日(金)24日(木)(基本研修) 10月4日(木)(実務研修) 11月15日(木)(実務研修) 12月5日(水)(実務研修) ②実施場所: 大阪府立中央図書館 ③実施回数: 5回 ④定員: カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来実施している事業。情報センターの司書の中で、障がい者サービス業務を主に務める司書が履修した。障がい者サービスの注意点を克服し、安定したサービスができるよう受講した。
	【図書ネットワーク支援事業】大阪府立中央図書館司書研修会参加	大阪府立図書館との協力事業【ムーブ】	大阪府立中央図書館が主催する「大阪府下公共図書館協力貸出業務担当者研修会」に参加し、リクエスト図書に係る相互貸借業務を円滑に行えるよう受講した。 ①実施日: 平成30年5月23日(水)3月7日(木) ②実施場所: 大阪府立中央図書館 ③実施回数: 2回 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: 2名 ⑥参加率: カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来、継続して実施している事業。図書館業務の一つである、協力貸出業務を円滑に行い、市民に安定したリクエストサービスを提供することができるよう受講した。安定した図書サービスと司書のスキルアップを図るため今後も受講を継続していきたい。
	【図書ネットワーク支援事業】図書館システムサーバー処理&情報確認	生涯学習課との協力事業【ムーブ】	毎年1回、情報センターでは、休館日に受電設備の法定点検を実施する。これに伴い、情報センターに設置されている守口市所有の「図書サーバー」も一時的に通電が停止される。この停止前に、停電対応処理を実施し、また、通電後の復旧作業を行い、図書情報の整合性が保たれているかをチェックし確認する。 ①実施日: 平成30年6月18日(月) ②実施場所: 情報センター事務室 ③実施回数: 1回 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: 3名 ⑥参加率: カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、平成5年以来、継続して実施している事業。情報センターは、受電設備の法定点検に伴う停電を年1回実施する。これにより、図書館システムのサーバーも停止されるが、停止前・停止後のサーバー処理を確実にし、堅牢性を確認する。これにより、市民に安定した図書サービスを提供することができる。
	【図書ネットワーク支援事業】大阪府図書館司書セミナー参加	大阪公共図書館協会・大阪府立図書館との協力事業【ムーブ】	生涯学習社会の構築に向け、その中核施設である図書館で働く司書・司書補が専門性を深め、資質向上を目指すため大阪府教育庁・府立中央図書館が主催する「図書館司書セミナー」に参加した。 ①実施日: 平成30年7月5日(木)7月20日(金)10月12日(金)10月25日(木)11月9日(金) 11月21日(水) ②実施場所: 大阪府立中央図書館 ③実施回数: 6回 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: 6名 ⑥参加率: カウント対象外	「図書ネットワーク支援事業」の一つとして、司書研修会に参加した。第1回:「若手図書館員のための著作権入門」、第2回:「若手図書館員のための接遇入門」、第3回:「図書館資料の修理」、第4回:「子ども読書活動推進」第5回:「障がい者サービス」第6回:「大学出版会の可能性」を学んだ。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 * 図書事業	【その他の図書館利用促進事業】 ビジネス支援 関連本展示と調査相談の実施	独自事業 【ムーブ】	図書館利用者が少ないと言われる現役ビジネスマン層を対象に、ビジネスに役立つ資料を多く展示し、紹介することにより、資料の利用促進を図る。 また、レファレンスの一環として、ビジネスマンの利用の促進を図るため、ビジネス関連の調査相談を実施した。 ①開催期間: 平成30年4月1日(日)～9月24日(月・祝) ②開催場所: 参考資料室・展示コーナー ③実施回数: 期間中継続 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: 7名(相談受付人数) ⑥参加率: カウント対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数: 365冊 相談件数: 7件	図書フロアの「その他の図書館利用事業」の一つとして、今期初めて実施した事業。 平日の夕方以降に、会社帰りの方が来館されるため、よりわかりやすく目立つよう展示方法を工夫した。大阪府立中之島図書館で実施されているビジネス支援関連事業も参考にしつつ、これからも充実を図ってきたい。
	【その他の図書館利用促進事業】 七夕まつり ～愛と希望のメッセージ 短冊記入＆関連資料展示 貸出～	独自事業 【ムーブ】	子どもから大人までさまざまな人が楽しむ年中行事である「七夕まつり」を、図書フロアははじめ館内で大規模に実施した。 館内随所に大笹を飾り、利用者自ら短冊を記入し、笹に飾りつけていただいた。 図書フロアでは、七夕関連本の展示・貸出、各地の七夕まつりのポスター掲示、「七夕の由来」を掲示し、来館者に周知すると共に、読書活動の推進を図った。 ①開催期間: 平成30年6月19日(火)～7月7日(土) ②開催場所: 1F受付横、2F図書フロア、4Fプラネタリウムドーム前ホワイエ ③実施回数: 期間中継続 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: 118名(短冊記入者) ⑥参加率: カウント対象外 ⑦その他 展示・貸出冊数: 91冊	図書フロアの「その他の図書館利用事業」の一つとして、平成10年度以来、継続して実施している事業。 毎年、子どもから大人まで多くの方が参加し、願い事を短冊に記入し飾られている。 今年は、幼稚園・保育所から団体で図書フロアに来館され、短冊を記入されていた。 関連資料も多数展示したが、全て貸出され、大変盛況であった。
	【その他の図書館利用促進事業】 わが町守口 何でも情報 ～写真で見る守口の歴史 & 新聞記事で知る守口の 文化～	独自事業 【ムーブ】	市民の皆様にも、守口市の歴史・文化を、写真と新聞記事の2つの局面から展示・紹介を行った。 戦前の市民の暮らしぶり、学校や子ども達の様子、当時の町並みを撮影した写真や、終戦直後の極東米軍が撮影した貴重な航空写真などを展示した。また、現代の町並みと昔の町並みの写真での比較などもパネル展示した。 同時に、これまで新聞に掲載された「守口市の歴史」関連の記事を展示し、多くの方々が熱心に閲覧されていた。 ①開催期間: 通年 ②開催場所: 図書フロア、1F展示コーナー・休憩室 ③実施回数: 期間中継続 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: カウント対象外 ⑥参加率: カウント対象外 ⑦その他	図書フロアの「その他の図書館利用事業」の一つとして、今期初めて実施した事業。 多数の市民が、この展示を閲覧され、中には、当時の思い出や生活の様子を熱心にスタッフに話される方もいた。また、学校の教員の方も閲覧され、後日、生徒を引率して、図書フロアに来館されたケースもあった。
	【その他の図書館利用促進事業】 ムーブ図書フロア・文化センター図書室共同事業 ～児童図書中心に所蔵資料の相互利用(保管場所の相互交換)と市民への提供～	独自事業 【ムーブ】	文化センターには、児童図書の所蔵がないところから、ムーブの児童図書・絵本・紙芝居の中から選書した資料を一時的に文化センターに送り、守口地区の子どもたちの読書活動推進のため実施したもの。 また、文化センターからは寄贈本を中心に、出版年次の古いものをムーブに送り、出版年次の新しいムーブ所蔵本との比較展示などを行い、市民に供することができた。 文化センターは、比較的高齢の利用者が多いが、児童書等の配架により、孫世代をつれて来館されたり、また、親子3代での来館する姿が見られるなど、新たな利用が広がった。 ①開催期間: 通年 ②開催場所: ムーブ図書フロア、文化センター図書室 ③実施回数: 期間中継続 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: カウント対象外 ⑥参加率: カウント対象外 ⑦その他 相互交換冊数: 305冊	図書フロアの「その他の図書館利用事業」の一つとして実施した事業。 両センターで、互いの資料の一部を交換し、新たな場所でも市民に供することにより、新たな利用者の増加、新たな資料の提供が図られた。
	【その他の図書館利用促進事業】 納涼 DVD落語会	独自事業 【ムーブ】	所蔵資料を使い、真夏の夕涼みがてら、市民に図書フロアでの楽しいひと時を過ごしてもらうため実施し、休憩時には、参加者の間での会話もあって、なごやかな交流風景も見られた。 開演前にお囃子やBGMを流して、参加しやすい雰囲気を出した。 所蔵資料(DVD)の活用と利用促進の一環として実施した。 ①開催日: 平成30年7月28日(土) ②開催場所: 図書フロアカウンター前 ③実施回数: 1回 ④定員: 30名 ⑤参加人数: 47名 ⑥参加率: 156.7%	図書フロアの「その他の図書館利用事業」の一つとして、平成20年度以来、継続して実施している事業。 図書フロアで、市民に古典芸能を楽しんでいただくため実施した。 参加者からは、「今度はおせんべいやラムネも売ってほしい」、「若手の落語家でもいいから、実演を見てみたい」など多くの要望が寄せられ、好評であった。

項目	内容	協定事項等	実施状況(実績値等)	達成度分析
自主事業 * 図書事業	【情報提供事業】 レファレンス事業 生涯学習情報誌の発行	独自事業 【ムープ】	市民の生涯学習活動に寄与するため、情報紙を発行し、「団体グループ情報」「指導者情報」のほか、「学校教育施設」「社会教育施設」「その他公共施設」等の記載し、より身近に学習情報を供した。 ①発行期間: 通年 ②設置場所: 図書フロア、文化センター、各公民館 ③実施回数: 年3回 ④発行部数: 600部	図書フロアの「情報提供事業」の一つとして、平成18年度以来、継続して実施している事業。 特に団塊世代のほか、多くの方々に活用されている。
	【情報提供事業】 レファレンス事業 生涯学習情報(「指導者情報」「団体・グループ情報」)の提供	独自事業 【ムープ】	「何かを学びたい」「こんなサークルはないか」「どこに行けば教えてもらえるか」など、生涯学習について相談を受けた司書が、情報センター独自で収集した「団体グループ情報」「指導者情報」や、民間情報を用いて、相談者に提供し、以って生涯学習活動の支援を図った。 ①実施期間: 通年 ②設置場所: 参考資料室、相談室 ③実施回数: 91回 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: 91名 ⑥参加率: カウント対象外 ⑦その他 相談件数: 91件	図書フロアの「情報提供事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 団塊世代の方が主な相談者であるが、現役世代からは「資格取得の相談」が多かった。
	【情報提供事業】 レファレンス事業 調査相談・読書相談 (所蔵調査含む)	独自事業 【ムープ】	図書フロアの司書業務の一環として、利用者からの読書相談・調査相談・資料の所蔵調査などを受付し、以って、市民の読書活動・生涯学習活動の支援を図った。 ①実施期間: 通年 ②設置場所: 図書カウンター、参考資料室、相談室 ③実施回数: 6,767回 ④定員: カウント対象外 ⑤参加人数: 6,767名 ⑥参加率: カウント対象外 ⑦内容 1)さまざまな読書相談 2)調べ学習の支援(調査相談) 3)所蔵調査(自館分・市内他館分・国立国会図書館 大阪府立図書館・大阪市立図書館・他県立図書館・他市町村立図書館 等) 4)関連機関所蔵調査(大学図書館・国立民族学博物館・大阪児童文学館 等)	図書フロアの「情報提供事業」の一つとして、平成5年の開館以来、継続して実施している事業。 インターネット環境になかったため、平成26年度中は、他の公共立図書館はじめ大学図書館、専門図書館、各家庭、個人からネットの資料検索ができず、電話やFAX等で、あるいは対面での所蔵調査が全体の8割弱を占めた。特に、各図書館からは所蔵調査の後、リクエスト受付に繋がることから所要時間がかかった。

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムーブ21施設利用対象

項目	協定事項等	分析																																
実施方法・回答者数	○調査期間 平成30年4月1日(日)～31年3月31日(日) (前回調査は、平成29年度に実施) ○実施方法 アンケート用紙・回収箱を館内に配置し、施設利用者に随時記入を呼びかけている。 ○回答者数 6名																																	
施設・整備の充実度	【()内数値は前回分】 <table><tr><td>とても満足</td><td>2 名</td><td>50.0 %</td><td>(59.5%)</td></tr><tr><td>満足</td><td>2 名</td><td>50.0 %</td><td>(9.5%)</td></tr><tr><td>ふつう</td><td>0 名</td><td>0.0 %</td><td>(28.6%)</td></tr><tr><td>不満</td><td>0 名</td><td>0.0 %</td><td>(2.4%)</td></tr><tr><td>とても不満</td><td>0 名</td><td>0 %</td><td>(0%)</td></tr><tr><td>計</td><td>4 名</td><td colspan="2">【無回答:2件】</td></tr><tr><td>加重平均</td><td>4.50 点</td><td colspan="2">(4.26点)</td></tr><tr><td>ランク</td><td>S</td><td colspan="2">(A)</td></tr></table>	とても満足	2 名	50.0 %	(59.5%)	満足	2 名	50.0 %	(9.5%)	ふつう	0 名	0.0 %	(28.6%)	不満	0 名	0.0 %	(2.4%)	とても不満	0 名	0 %	(0%)	計	4 名	【無回答:2件】		加重平均	4.50 点	(4.26点)		ランク	S	(A)		【評価】 前回の「A: 高いレベル」より1ランク上昇して「S: 極めて高いレベル」にアップした。
とても満足	2 名	50.0 %	(59.5%)																															
満足	2 名	50.0 %	(9.5%)																															
ふつう	0 名	0.0 %	(28.6%)																															
不満	0 名	0.0 %	(2.4%)																															
とても不満	0 名	0 %	(0%)																															
計	4 名	【無回答:2件】																																
加重平均	4.50 点	(4.26点)																																
ランク	S	(A)																																
施設の利用のしやすさ	【()内数値は前回分】 <table><tr><td>とても満足</td><td>6 名</td><td>100.0 %</td><td>(52.5%)</td></tr><tr><td>満足</td><td>0 名</td><td>0.0 %</td><td>(8.3%)</td></tr><tr><td>ふつう</td><td>0 名</td><td>0.0 %</td><td>(37.5%)</td></tr><tr><td>不満</td><td>0 名</td><td>0.0 %</td><td>(1.7%)</td></tr><tr><td>とても不満</td><td>0 名</td><td>0.0 %</td><td>(0%)</td></tr><tr><td>計</td><td>6 名</td><td colspan="2">【無回答:0件】</td></tr><tr><td>加重平均</td><td>5.00 点</td><td colspan="2">(4.12点)</td></tr><tr><td>ランク</td><td>S</td><td colspan="2">(A)</td></tr></table>	とても満足	6 名	100.0 %	(52.5%)	満足	0 名	0.0 %	(8.3%)	ふつう	0 名	0.0 %	(37.5%)	不満	0 名	0.0 %	(1.7%)	とても不満	0 名	0.0 %	(0%)	計	6 名	【無回答:0件】		加重平均	5.00 点	(4.12点)		ランク	S	(A)		【評価】 前回の「A: 高いレベル」より1ランク上昇して「S: 極めて高いレベル」にアップした。 利用のしやすさ、費用、清潔度等について4問設定し、数値は4問の合算
とても満足	6 名	100.0 %	(52.5%)																															
満足	0 名	0.0 %	(8.3%)																															
ふつう	0 名	0.0 %	(37.5%)																															
不満	0 名	0.0 %	(1.7%)																															
とても不満	0 名	0.0 %	(0%)																															
計	6 名	【無回答:0件】																																
加重平均	5.00 点	(4.12点)																																
ランク	S	(A)																																

2 施設のサービス水準

(2) 利用者満足度の分析・評価

利用者アンケート調査の結果・ムーブ21施設利用対象

項目	協定事項等		分析
職員の対応・態度	【()内数値は前回分】		【評価】 前回の「A:高いレベル」より1ランク上昇して「S:極めて高いレベル」にアップした。
	とても満足	4 名 80.0 % (46.7%)	
	満足	0 名 0.0 % (6.7%)	
職員	ふつう	1 名 20.0 % (46.7%)	
	不満	0 名 0.0 % (0%)	
	とても不満	0 名 0.0 % (0%)	
計	5 名	【無回答:1件】	
加重平均	4.60 点	(4.00点)	
ランク	S	(A)	
利用時間	【()内数値は前回分】		【評価】 前回「B:やや高いレベル」より2ランク下降して「D:低いレベル」にダウンした。
	とても満足	0 名 0.0 % (41.2%)	
	満足	0 名 0.0 % (14.7%)	
利用者	ふつう	0 名 0.0 % (41.2%)	
	不満	1 名 100.0 % (0%)	
	とても不満	0 名 0.0 % (2.9%)	
計	1 名	【無回答:5件】	
加重平均	2.00 点	(3.91点)	
ランク	D	(B)	
総合評価	【()内数値は前回分】		【評価】 概ね前回同様高いレベルの評価をいただいた。今回サンプル数が非常にすくないが、日々の運営業務の中で、利用者から直接ご意見の声を多数いただいております、それらも参考にしながら業務に取り組んできたことも併せて申し述べたい。
	調査項目別加重平均とランク		
	施設・設備の充実度	4.50 点 S (4.26点) (A)	
施設	施設の利用のし易さ	5.00 点 S (4.12点) (A)	
	職員の対応・態度	4.60 点 S (4.31点) (A)	
	利用時間	2.00 点 D (4.53点) (S)	
全体平均	4.56 点 S (4.27点) (A)		

市民からの意見・要望等 (グループ)	主な意見・要望等	対応状況等(上記アンケートによる対応)
	自習室を作って欲しい。	平成30年度で当事業団の運営期間は満了し解散した。
	他館にない視聴覚資料も多く見受けられる。特にレーザーディスクは利用できる館も非常に少ない為、その充実がアピールポイントになり得	平成30年度で当事業団の運営期間は満了し解散した。
	おはなし会について、昼過ぎはお昼寝時間帯の為、午前中にして欲しい。	平成30年度で当事業団の運営期間は満了し解散した。
	絵本の種類や数が充実していると思う。	平成30年度で当事業団の運営期間は満了し解散した。
	平日来れないので、図書の利用時間について、土日祝20時迄にして欲しい。	平成30年度で当事業団の運営期間は満了し解散した。
	もう少しレーザーディスクなどのビデオの種類を増やして欲しい。	平成30年度で当事業団の運営期間は満了し解散した。
	煙草の煙が入口の前に漂っている為、喫煙場所を入口より離して欲しい。	より館の入口より遠い場所に動かした。
利用者満足度評価 コメント		
概ね前回同様高い評価を得た。アンケートの回収数については、回収できた数が非常に少なく残念である。今回は図書に関連しての要望がいくつか見られる。当事業団の運営は今年度で満了となるが、今後の発展を期待している。		

2 施設のサービス水準
(4) 守口市生涯学習情報センターの収支状況の分析・評価

【収入の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	実績－予算	備考
委託料		125,248,800	125,169,835	-78,965	差額は修繕料戻入額
利用料金等	施設利用料	11,645,000	10,609,223	-1,035,777	
	雑入	100,000	308,046	208,046	
収入合計		136,993,800	136,087,104	-906,696	

【支出の部】

大項目	小項目	予算額	実績額	予算－実績	備考
人件費	給与費	25,331,000	24,765,253	565,747	
	福利厚生費	1,368,000	1,763,816	-395,816	
	法定福利費	5,851,000	5,359,355	491,645	
	賃金等	15,570,000	15,434,276	135,724	
事務費	印刷費	350,000	222,168	127,832	
	通信費	1,442,000	888,415	553,585	
	保険料	148,000	120,512	27,488	
	事務用品費	4,500,000	2,839,614	1,660,386	消耗品費
	旅費交通費	60,000	21,760	38,240	
	賃借料	742,000	1,123,358	-381,358	諸使用料
管理費	業務委託費	42,902,000	42,429,854	472,146	諸委託料
	光熱水費	15,183,800	14,114,917	1,068,883	
	修繕費	3,500,000	3,421,035	78,965	
	燃料費	0	0	0	
物件費	備品購入費	13,550,000	13,546,980	3,020	消耗什器備品費
事業費	事業費	0	0	0	
	退職金	0	5,945,635	-5,945,635	
	賞与引当金繰入額	0	0	0	人件費
	通勤手当	1,163,000	1,166,240	-3,240	人件費
	諸謝金	360,000	361,000	-1,000	
	負担金	53,000	52,000	1,000	
	法人税等	40,000	0	40,000	経常外費用
	手数料等	180,000	404,321	-224,321	
	渉外費	0	0	0	
	雑費	0	700	-700	
公租公課	租税公課	4,700,000	3,308,900	1,391,100	法人税を含む
支出合計		136,993,800	137,290,109	-296,309	

収支(実績ベース)

136,087,104	－	137,290,109	=	-1,203,005
-------------	---	-------------	---	------------

収支状況 コメント
今年度は、実績ベースで若干の減収となった。経費については縮減に努めたが解散に伴う臨時的支出もあり、約120万円の赤字となった。